



# ユニセフと地球の子どもたち ⑬

http://www.unicef.or.jp

ベトナム  
Socialist Republic  
of Viet Nam

わからない言葉で授業  
しかたなく学校をやめた

ベトナムには、人口(約八千万人)の約九〇パーセントをしめるキン民族と、五十以上の少数民族がくらししている。少数民族の人々は、自分たちのことばや文化を大切にしているんだ。でも、学校では先生のことばも教科書も、キン民族の使うベトナム語だ。ベトナム北部にくらす少数民族のチュアンくん(十歳)の話を聞いてみよう。



ぼくはベトナム北部のラン・ソン省にある小さな村に住んでいる。ベトナムで一番人口の多いキン民族と、いくつもの少数民族がくらししている。ぼくはそのうちの一つ、タイ民族なんだ。

ム語で書かれた教科書を使って、ベトナム語で授業をする。でも、ぼくたちはタイ民族は、自分たちのことばや習慣を大切にしている。ふだんはタイ民族のことばを使っていて、

内容がわからないのなら、家の仕事を手伝ったほうがお父さんやお母さんの役に立つと思う。ぼくは学校に行くのをやめたんだ。同じ理由で、何人もの友だちが学校をやめてしまった。

## 自分たちの習慣を大切に

ぼくの村には学校がなかった。となり村にある小学校に通っていたんだ。でも、少し前にやめてしまった。

どうしてかって？先生は、キン民族が使うベトナム語がわからないし、先生がいつていることも理解できない。学校まで通うのも遠くて大変だ。勉強の



きのう、村の人が、もうすぐぼくたちの村に、ユニセフの支

## 民族の言葉で学ぶ学校でできるよ ベトナム語も覚え仲間広げたい

新しい授業へ  
夢はふくらむ

遠くまで行かなくても勉強できるし、先生とタイ民族のことばで話せるなんてうれしいな。文字の読み書きや計算も、タイ民族のことばで、わかるようにならな。両方のことばで授業ができるように先生だってがんばってくれるんだから、ぼくもがんばるぞ！

掲載は一週おき。次は十二月一日の予定です



ベトナム北部ラン・ソン省の子どもたち ©日本ユニセフ協会

動の輪が広がり、同じ地球に住んでいる子どもたちが、ひとりひとりに大切にする心や思いやりの気持ちを少しだけでもつ

とができればいいな、と思います。みなさんの来館を楽しみにしています。



説明を聞き、メモをとる東京都練馬区の田柄第三小学校の子どもたち

世界のすべての子どもは「権利」をもち、「子どもの権利条約」に守られています。

第三十条は「少数民族・先住民の子どもについて、うたっています。世界に

はいくつもの少数民族がくらす国や先住民のいる国があります。子どもの権利条約

## もっと知りたーい！

アグネス・ス・チャン

さんとは、ユニセフの国内委員会である日本ユニセフ協会の大

として、世界の子どもたちのよ

うすや、ユニセフを多くの人に知ってもら

ための活動をつづけています。

たとえば、ユ

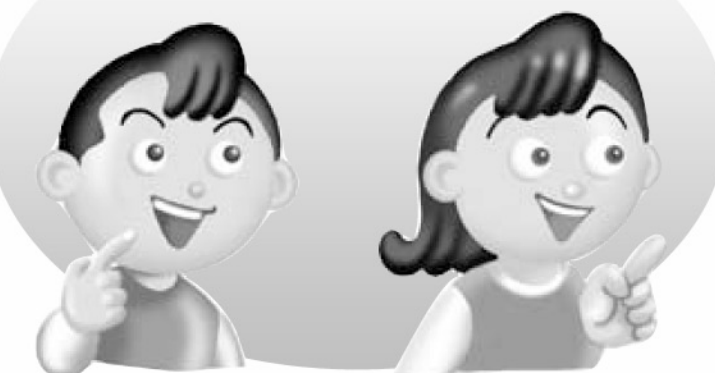
た

アグネスさんと協会

ニセフが支援活動をしている国や地域を毎年おとすれて、き

びしい状況の中でもがんばってくらしている子どもたちのよ

うすやユニセフの取



た黒柳徹子さんも、毎年多くの国や地域をおとすれ、子どもたちのようすなどをつたえる活動をつづけています。